

講演タイトル：保険調剤薬局の薬剤師におけるバイタルサインの確認および救命救急への関与についての意識調査

今、薬剤師に必要なものは何！？～薬剤師の業務展開に関する薬局薬剤師の意識調査～

九州保福大薬

○瀬戸口奈央、徳永 仁、高村徳人、緒方賢次、吉田裕樹、佐藤圭創

日本大薬

濃沼政美、中村 均

現在、薬剤師の職能拡大に向けてさまざまな討論がなされており、これからの薬剤師は患者の状態を把握できる能力が求められつつあります。それに伴い薬剤師業務に対する薬剤師の意識も変わりつつあり、近年、バイタルサインの確認や救命救急などに関与する病院薬局が増えてきています。また、薬学教育も大きく変化してきており、シミュレータを用いたバイタルサインの確認を行う大学もみられます。このような現状の中、薬局薬剤師による薬剤師の業務展開における取り組みが少ないように思われます。我々は、現場に医師・看護師のいない薬局の薬剤師こそ、薬の効果・副作用の確認をはじめ患者の異常の早期発見、急変した場合の適切な処置を行うためのバイタルサインの確認は重要であると考えます。また、高齢社会に伴い「在宅医療」の需要は大きく増加してきています。そこで、我々は薬局薬剤師が業務展開についてどのような意識を有しているか調べるためアンケート調査を行いました。その結果、救命救急教育および職能拡大への関心度が高いことが明らかとなりました。今後は、薬学的実践技術を盛り込んだ薬学教育を行っていく必要があり、そのためには、薬剤師と薬学教員との共同体制が非常に重要であると考えます。